



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 豊田通商株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加留部 淳

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 塩崎 泰司

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,640,132	25.2	26,343	93.0	34,951	47.9	22,671	36.9
24年3月期第1四半期	1,310,426	△3.8	13,648	△46.2	23,630	△23.1	16,563	12.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 20,066百万円 (△12.0%) 24年3月期第1四半期 22,793百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	64.80	64.78
24年3月期第1四半期	47.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,904,573	758,012	22.2
24年3月期	2,837,428	751,747	22.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 644,219百万円 24年3月期 640,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	26.00	42.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700,000	13.2	115,000	24.5	127,000	10.3	70,000	5.7	200.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Toyota Tsusho Wheatland Inc. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	354,056,516 株	24年3月期	354,056,516 株
25年3月期1Q	4,168,801 株	24年3月期	4,165,972 株
25年3月期1Q	349,889,205 株	24年3月期1Q	349,686,244 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経済環境を概観しますと、ギリシャの政治混乱や、スペイン金融システムの不安の高まりなど、欧州債務危機拡大による信用不安が再燃し、世界経済全体に減速感が広がりました。米国経済は雇用状況の低迷から弱い回復となり、中国やインドの景気拡大テンポも減速傾向が強くなりました。こうした中、わが国経済は、復興需要等による緩やかな回復が続いたものの、円高の継続や海外市場の低迷、原油価格の高止まり等により、厳しい状況が続きました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は自動車生産の回復等により、前年同四半期連結累計期間を3,297億円(25.2%)上回る1兆6,401億円となりました。

これを事業本部別にみますと以下の通りであります。

金属本部は、鉄鋼分野では、中国における現地調達化の進展に合わせ、江蘇省常州市に自動車用磨棒鋼の製造・販売を行う会社を設立しました。非鉄金属分野では、引き続きレアアースの資源開発に注力しました。鉄鋼原料分野では、グローバルなリサイクルネットワークの構築を目指して、環境・リサイクル事業推進部を設置しました。売上高については、自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を1,079億円(31.6%)上回る4,497億円となりました。

グローバル生産部品・ロジスティクス本部では、中小部品メーカーの海外進出を支援するため設立したインドネシアのテクノパーク事業会社において、第一期入居企業の受入準備と第二期の建設工事を進めました。売上高については、自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を468億円(34.4%)上回る1,828億円となりました。

自動車本部では、中国やアフリカなど、新興・資源国を中心に自動車販売拠点を拡充しました。また、国内自動車アフターサービス事業の効率化・強化を目的に、関連子会社を統合し、株式会社ティー・エー・エスを立ち上げました。売上高については、海外の車両販売増加により、前年同四半期連結累計期間を589億円(40.8%)上回る2,032億円となりました。

機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部は、機械分野では、建設機械のグローバル展開を加速するため、シンガポールの大手建設機械レンタル・販売会社に出資し同事業に参入しました。エネルギー・プラントプロジェクト分野では、カナダ最大手の天然ガス事業会社から、同社がカナダ・アルバータ州に保有する炭層メタンガス鉱区の権益の一部を取得しました。売上高については、石油製品等の取り扱い増加により、前年同四半期連結累計期間を646億円(23.6%)上回る3,382億円となりました。

化学品・エレクトロニクス本部は、化学品分野では、医療事業拡大のため、セコム医療システム株式会社、インドのキルロスカ・グループと3社共同で、インドでの総合病院運営会社を設立しました。エレクトロニクス分野では、子会社である株式会社ETスクウェアが、自動車向けマルチメディア配信事業においてパイオニア株式会社との連携を開始し、コンテンツ及びサービスの拡充に努めました。売上高については、エレマテック株式会社の子会社化及び自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を535億円(20.3%)上回る3,177億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、豪州の穀物集荷・輸出事業会社に出資し、豪州における集荷・物流・輸出事業に本格参入しました。食品分野では、農業生産法人株式会社ベジ・ドリーム栗原が、宮城県大衡村のトヨタ自動車東日本株式会社隣接地に新設する第3農場において、同社工場自家発電機の廃熱を有効活用してパプリカを生産する、新たな農工商連携事業に着手しました。売上高については、小麦及び飼料原料の市況下落により、前年同四半期連結累計期間を77億円(9.1%)下回る764億円となりました。

生活産業・資材本部は、ライフスタイル分野では、介護関連事業の拡充を目指して、株式会社ニチイケアネットが設立した中国の日医福利器具貿易(上海)有限公司への出資につき基本合意しました。都市開発分野では、大阪府箕面市で住宅地「箕面森町PEACEGARDEN」の販売を開始しました。売上高については、震災影響からの回復により、自動車向け資材・用品の取り扱いが増加したことから、前年同四半期連結累計期間を55億円(8.4%)上回る708億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上総利益の増加等により263億43百万円となり、前年同四半期連結累計期間（136億48百万円）を126億95百万円（93.0%）上回りました。経常利益は349億51百万円となり、前年同四半期連結累計期間（236億30百万円）を113億21百万円（47.9%）上回りました。その結果、税引後の四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間（165億63百万円）を61億8百万円（36.9%）上回る226億71百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、現金及び預金で434億円、無形固定資産で251億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ671億円増加の2兆9,045億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で109億円増加した一方で、その他有価証券評価差額金で61億円の減少となり、前連結会計年度末に比べ63億円増加の7,580億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月27日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、新たに設立したToyota Tsusho Wheatland Inc. を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	354,811	398,295
受取手形及び売掛金	1,054,602	1,039,046
有価証券	10,000	—
たな卸資産	406,546	428,235
その他	156,063	157,284
貸倒引当金	△5,050	△4,899
流動資産合計	1,976,974	2,017,962
固定資産		
有形固定資産	353,042	362,003
無形固定資産		
のれん	78,005	75,767
その他	34,554	61,882
無形固定資産合計	112,560	137,649
投資その他の資産		
投資有価証券	311,030	302,428
その他	99,454	99,874
貸倒引当金	△15,633	△15,344
投資その他の資産合計	394,851	386,958
固定資産合計	860,454	886,611
資産合計	2,837,428	2,904,573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	800,067	760,873
短期借入金	350,001	418,232
未払法人税等	17,036	13,002
引当金	837	454
その他	319,263	385,532
流動負債合計	1,487,206	1,578,096
固定負債		
社債	85,000	85,000
長期借入金	444,521	414,659
引当金	21,298	19,969
その他	47,653	48,836
固定負債合計	598,474	568,464
負債合計	2,085,681	2,146,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,367	154,367
利益剰余金	483,255	494,121
自己株式	△6,844	△6,849
株主資本合計	695,714	706,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,924	10,808
繰延ヘッジ損益	△577	800
為替換算調整勘定	△71,730	△73,966
その他の包括利益累計額合計	△55,383	△62,356
新株予約権	1,454	1,495
少数株主持分	109,962	112,298
純資産合計	751,747	758,012
負債純資産合計	2,837,428	2,904,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,310,426	1,640,132
売上原価	1,235,830	1,544,043
売上総利益	74,596	96,089
販売費及び一般管理費	60,948	69,745
営業利益	13,648	26,343
営業外収益		
受取利息	723	963
受取配当金	5,512	5,294
持分法による投資利益	4,882	4,810
雑収入	3,698	3,287
営業外収益合計	14,817	14,355
営業外費用		
支払利息	3,324	4,477
雑支出	1,511	1,269
営業外費用合計	4,835	5,747
経常利益	23,630	34,951
特別利益		
固定資産売却益	5,349	148
投資有価証券及び出資金売却益	53	758
事業撤退損失引当金戻入額	—	418
損害補償損失引当金戻入額	—	1,024
段階取得に係る差益	—	2,330
受取保険金	—	154
厚生年金基金代行返上益	2,214	—
その他	3	80
特別利益合計	7,621	4,916
特別損失		
固定資産処分損	50	279
投資有価証券及び出資金売却損	—	115
投資有価証券及び出資金評価損	1,146	554
関係会社整理損	52	—
債務保証損失引当金繰入額	191	—
事業撤退損失引当金繰入額	1,367	—
その他	10	7
特別損失合計	2,818	956
税金等調整前四半期純利益	28,432	38,911
法人税等	9,230	11,924
少数株主損益調整前四半期純利益	19,202	26,986
少数株主利益	2,638	4,314
四半期純利益	16,563	22,671

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,202	26,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,125	△5,903
繰延ヘッジ損益	859	1,312
為替換算調整勘定	143	△3,070
持分法適用会社に対する持分相当額	1,463	741
その他の包括利益合計	3,591	△6,919
四半期包括利益	22,793	20,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,538	15,721
少数株主に係る四半期包括利益	2,254	4,345

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産 業・資材	計				
売上高												
外部顧客への売上高	341,825	136,024	144,356	273,697	264,210	84,116	65,356	1,309,588	837	1,310,426	—	1,310,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	1,568	5	365	1,483	30	352	3,845	98	3,943	△3,943	—
計	341,865	137,593	144,362	274,062	265,693	84,147	65,709	1,313,433	936	1,314,369	△3,943	1,310,426
セグメント利益又は損失(△)	5,879	1,722	4,142	△1,736	1,861	285	2,178	14,333	△685	13,647	0	13,648

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産 業・資材	計				
売上高												
外部顧客への売上高	449,705	182,838	203,280	338,233	317,771	76,475	70,840	1,639,146	986	1,640,132	—	1,640,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	1,297	△0	234	1,435	37	527	3,564	139	3,704	△3,704	—
計	449,739	184,136	203,279	338,467	319,207	76,512	71,368	1,642,710	1,125	1,643,836	△3,704	1,640,132
セグメント利益又は損失(△)	8,259	4,784	8,239	△1,128	3,910	△67	3,136	27,133	△794	26,339	3	26,343

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主にセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

(投資に係る重要な事象)

当社は、平成24年7月25日、西アフリカを中心に事業を行う仏系大手商社CFA0 S.A.（以下、CFA0社）の発行済株式の29.8%を取得すべく、CFA0社の筆頭株主であるフランス服飾・小売大手PPR S.A.（以下、PPR社）と株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 株式取得の理由

当社は、成長著しいアフリカを重点地域のひとつと位置付け、モビリティ分野を中心に積極的な事業展開を進めてきており、更なる事業基盤の強化を検討してまいりました。

このたび、アフリカの仏系大手商社であるCFA0社の株式を取得することにより、モビリティ分野においては南・東アフリカ地域24ヶ国でトヨタ車の強固な代理店・販売店ネットワークを持つ当社と、西アフリカ地域34ヶ国で20ブランド以上の自動車代理店・販売店を展開するCFA0社の強みを活かし、アフリカ全土における事業展開を加速していきます。

また、CFA0社はモビリティ分野以外でも、医薬品卸売事業でアフリカNo.1のシェアを有するなど、ライフ&コミュニティ分野でも優良な事業基盤を有しており、互いの事業ネットワーク、ノウハウ、人材といった強みを組み合わせ、シナジーを発揮することで、更なる事業拡大が可能であり、当社の掲げる「GLOBAL 2020 VISION」の実現に向けても、同社を最適なパートナーとして捉えております。

今後、モビリティ分野、ライフ&コミュニティ分野の両面において、CFA0社との協業を検討していく中で、更なる関係強化を目的として、PPR社が継続して保有する12.2%の持分を含め、更に株式を追加取得することも視野に入れております。

2. 取得する会社の概要

名称	CFA0 S.A. (ユーロネクスト・パリ上場)		
事業内容	自動車輸出入、販売・メンテナンス、医薬品卸、ITサポート、レンタル、建機販売・メンテナンス、エレベータ販売・メンテナンス 等		
資本金	10百万ユーロ		
当該会社の最近3年間の連結売上高及び連結総資産（金額単位：百万ユーロ）			
決算期	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
連結売上高	2,582	2,676	3,123
連結総資産	1,714	1,918	2,315

3. 株式取得の相手会社の概要

名称	PPR S.A. (ユーロネクスト・パリ上場)
事業内容	ファッションリテール、家電量販店 等

4. 株式取得の日程

株式譲渡契約締結日	平成24年7月25日
株式取得日	平成24年8月上旬（予定）

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の所有比率

取得する株式の数	18,334,706株
取得価額	約650億円（一株あたり価格：37.5ユーロ）
取得後の所有比率	29.8%

6. 損益に及ぼす重要な影響

本件に係る平成25年3月期の連結業績予想への影響については、現在算定中です。

2013年3月期第1四半期連結決算概要

2012年7月31日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

連結経営成績	第1四半期	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	16,401	13,104	3,297	25.2%
売上総利益	960	745	215	28.8%
販売費及び一般管理費	697	609	88	-
営業利益	263	136	127	93.0%
利息収支	▲35	▲26	▲9	-
受取配当金	52	55	▲3	-
持分法による投資損益	48	48	▲0	-
その他	20	21	▲1	-
経常利益	349	236	113	47.9%
特別損益	39	48	▲9	-
税金等調整前 四半期純利益	389	284	105	36.9%
法人税等	119	92	27	-
少数株主利益	43	26	17	-
四半期純利益	226	165	61	36.9%

主な増減要因
<p>【売上高】+3,297億円 自動車生産台数増加に伴い、金属本部を中心に取扱い増加</p> <p>【売上総利益】+215億円 売上高の増加及び新規連結子会社の影響により、自動車、化学品・エレクトロニクス本部を中心に増加</p> <p>【販売費及び一般管理費】+88億円 新規連結子会社の影響等により増加</p> <p>【利息収支】▲9億円 新規連結子会社の影響等により減少</p> <p>【特別損益】▲9億円 主に前期固定資産売却益の影響により減少</p>

商品本部別 連結売上高・営業利益	第1四半期	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く	
					増減額	増減率(%)
※上段:売上高、下段:営業利益						
金属	4,497	3,418	1,079	▲47	1,126	33.4%
	82	58	24	▲2	26	44.7%
グローバル生産部品・ロジスティクス	1,828	1,360	468	▲49	517	39.4%
	47	17	30	▲1	31	186.1%
自動車	2,032	1,443	589	▲65	654	47.4%
	82	41	41	▲3	44	112.2%
機械・エネルギー・プラントプロジェクト	3,382	2,736	646	▲19	665	24.4%
	▲11	▲17	6	1	5	-
化学品・エレクトロニクス	3,177	2,642	535	▲24	559	21.4%
	39	18	21	▲1	22	116.2%
食料	764	841	▲77	▲9	▲68	▲8.1%
	▲0	2	▲2	▲0	▲2	▲126.3%
生活産業・資材	708	653	55	▲4	59	9.1%
	31	21	10	0	10	43.5%
合計	16,401	13,104	3,297	▲217	3,514	27.3%
	263	136	127	▲4	131	99.5%

主な増減要因
<p>【売上高・営業利益】 自動車生産台数の増加により増収増益</p> <p>【売上高・営業利益】 海外自動車生産台数の増加により増収増益</p> <p>【売上高・営業利益】 単体の輸出及び海外自動車販売会社の取扱台数増加により増収増益</p> <p>【売上高】 石油製品等の取扱い増加により増収 【営業利益】 豪州石炭PJの業績改善により損失減少</p> <p>【売上高・営業利益】 新規連結子会社の影響及び自動車生産台数の増加により増収増益</p> <p>【売上高・営業利益】 小麦及び飼料原料等の市況下落により減収減益</p> <p>【売上高・営業利益】 自動車向け資材・用品の取扱い増加により増収増益</p>

連結財政状態	第1四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
総資産	29,045	28,374	671	2.4%
(流動資産)	20,179	19,769	410	2.1%
(投資有価証券)	3,024	3,110	▲86	▲2.8%
(その他の固定資産)	5,841	5,494	347	6.3%
純資産	7,580	7,517	63	0.8%
有利子負債(NET)	7,345	6,721	624	9.3%
D E R (NET)	1.1	1.0	0.1	

主な増減要因
<p>【流動資産】+410億円 ・現預金の増加 +434億円 ・売上債権の減少 ▲156億円 ・たな卸資産の増加 +217億円</p> <p>【その他の固定資産】+347億円 ・無形固定資産の増加 +251億円</p> <p>【純資産】+63億円 ・利益剰余金+109億円 (四半期純利益226億円、配当金▲91億円等) ・有価証券評価差額金▲61億円 ・繰延ヘッジ損益+13億円 ・為替換算調整勘定▲22億円 ・少数株主持分+23億円</p>

連結業績予想	当期予想	前期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	67,000	59,167	7,833	13.2%
営業利益	1,150	924	226	24.5%
経常利益	1,270	1,151	119	10.3%
当期純利益	700	662	38	5.7%

主要指標推移		第1四半期	前年同期 (前期末)	2013年 3月期 (予想)
為替(円/米ドル)	平均	80	82	80
	期末	79	(82)	80
金利	円TIBOR3M平均	0.34%	0.34%	0.35%
	米ドルLIBOR3M平均	0.47%	0.26%	0.40%
ドバイ原油(米ドル/bbl)		108	111	95
豪州一般炭(米ドル/トン)		96	126	100
シカゴコーン(セント/Bushel)		618	684	630